

# 花新聞

花を愛し、花の輪を広げよう。

HANA  
SHINBUN

第20号

北九州市建設局  
公園緑地部緑政課花とみどり係  
〒803-8501 小倉北区城内1-1 093(582)2466



花新聞キャラクター  
ピッチちゃん



夜宮公園

## しょうぶ 今年「とばた菖蒲まつり」に 出かけてみませんか?

### 初夏を彩る 夜宮公園の花菖蒲

花菖蒲はアヤメ科の花で、学名はアイリス(ギリシャ語で「虹」の意味)。梅雨のころの代表的な花の一つで、野生の「野花菖蒲」を原種として改良された国産の園芸植物です。葉が「菖蒲」に似ている花が咲くことから、「花菖蒲」と名づけられたとか。江戸時代に入って飛躍的な発達をとり、江戸時代末には、今日の花とほとんど変わらぬまでに改良されました。しかし、最近ではピンク系などの新しい色彩や、おもしろい花形を持った品種も生まれています。

日本の梅雨の季節を美しく彩る花として、今も変わらず多くのファンを持つ花菖蒲。戸畑区にある夜宮公園は、35種類2万本もの花菖蒲が咲き誇る名所です。毎年6月上旬には「とばた菖蒲まつり」が開催され、多くの人々で賑わいます。楽しいイベントも盛りだくさん。花菖蒲の見頃は5月末から6月中旬にかけてですが、日本人が古来より培ってきた日本の美しいさと品格を併せ持つ花菖蒲を親に、家族揃って夜宮公園へ出かけてみませんか。

### とばた菖蒲まつり2005

- とき 平成17年  
6月4日(土)・5日(日)
- ところ 戸畑区夜宮公園一帯
- お問い合わせ  
戸畑区役所まちづくり推進課  
TEL:093-871-1501(代表)



花菖蒲  
おすすめスポット  
●白野江植物公園  
(門司区白野江)



FLOWER  
KITAKYUSHU

# ばなまちニュース

**門司港レトロ地区も花新聞同様、今年3月で開業10周年を迎えることをご存知ですか？レトロ地区だけで、年間50万人(日15年度)もの人が訪れる北九州ナンバー1の観光地です。今回は、この門司港地区で花づくり活動を続ける「錦まちづくり工房」の皆さんの奮闘ぶりを紹介します。**



**レトロ地区も10周年  
門司港地区での花づくり**



## 港町・門司に広がる 花咲くまちづくり

「錦まちづくり工房」奮闘記  
～新しい花のスポットができるまで～

- 錦町市民センター
- 九州鉄道記念館
- 市民花壇

**きっかけは錦町校区の  
まちづくりの事業**

錦町市民センターの玄関先。アイビーやローズマリー、シルバリーフなどいろんな色や形の葉が主役のコンテナガーデン、扉の脇には木製の押し車にシクラメンの花。見なれた花なのに、その姿はどことなく際立って、目を引きまします。

「錦まちづくり工房」のメンバーは30代から70代までの各世代が14、15名。発足のきっかけは平成15年、まちづくり事業として「住んでいて楽しい、住みがいがある町をつくらう」と市民センターの岡本三津子館長が各世代の住民に声をかけ、集まったことでした。



**花とともにまちづくり**

初回の会合のタイトルは「井戸端会議で町の献立づくり」。2年前の議題をみんなが覚えていたユニークなネーミングです。

ここから「町をよくするためにどうすればいいか」8回にわたって話し合う過程で転機が訪れます。

緑や花をテーマにまちづくりを行った自治体や「オープンガーデン北九州」という団体の活動ビデオを見た時のこと。「自分の町



だったらこんなところに花を植えたい」など具体的なイメージやアイデアが次々と浮かんできたそうです。皆さんの心が大きく動いた瞬間でした。そこで「花に関わりながらまちづくりをしよう」と『花いっぱい事業』に携わることが決まります。

### 勉強と実践が同時にスタート 九州鉄道記念館の花作り

まずは勉強からと、昨年の4月から5回、1回2時間のコースでコンテナガーデンの講習を受講します。講師は活動ビデオを見て刺激を受けたオープンガーデン北九州の平井征喜氏です。

この講習がスタートしてほぼ同時に、同じ年の8月に1周年を迎える「九州鉄道記念館」(以下「記念館」)から、花の世話を手伝ってほしいと依頼があります。「やってみよう」ということになり、6月と7月の2回、記念館で花の植え込みが行われました。



1回目の6月は、枯れた草花を抜き、土の改良を行ってから花を植えます。初夏の暑い日でしたが、花の小路のような花壇や枕木を使ったおしゃれな花壇が完成しました。

また2回目の7月にはハンギングバスケットを39個もつくって人口のフェンスに取り付けました。この時は足立中学校の生徒さんもお手伝いしました。

重厚な外観の記念館が花によってやわらかく華やいだ印象に演出され、8月8日、開館1周年という記念の日を迎えたのです。



続きは5ページ

### オープンガーデン北九州とは.....

「いろんな庭を見て、ガーデニングのアイデアを学ぼう」というイギリスの習慣を取り入れた活動。平成14年に北九州市内のガーデニング愛好家らが発足し、庭めぐりツアーやガーデニング講座を企画しています。

また、昨年からは「コンテナガーデン革命」という新しい企画がスタートしています。これは、市民センターや公民館などに出張して、コンテナガーデンのレッスンをを行い、庭のない方でも花を飾ったり楽しんだりする楽しさを知ってもらおうというもの。「北九州を花いっぱいの町にするために、まずは自分の家を花で彩ろう」それが、「コンテナガーデン革命」です。

大きな2つのテーマに取り組み、歩きたくなるような緑の散歩道が北九州にふえることを願って活動している団体です。

※オープンガーデン北九州のHP <http://www.epochcircle.com/ogk/>



# 花新聞

# 10周年記念特集号



## 「花とみどり係」の移り変わり

平成5年4月、全国で初めての部署である花係が誕生。花係は、平成3年度にグリーンパークで開催された「全国都市緑化フェア」が契機となり、これまで公害問題等で灰色のイメージがあった北九州市を花いっぱいの美しい街にしよう、という背景からうまれた係です。

平成16年4月には「花とみどり係」に名称が変わりました。花だけでなく、緑がもたらす効果も利用することによって、総合的に市内に花と緑であふれた潤いのある空間を生み出そうと取り組んでいます。



## 「花新聞」

花係発足と同時に策定された「北九州市花の総合計画」に基づき、花の普及啓発活動の一つとして平成7年度から発行されました。花に関するさまざまな情報や北九州市で取り組んでいる事業を紹介することで、市民の方に花に対する関心を高めてもらうとともに、市民自ら積極的に花づくりに参加してもらい、市内を花いっぱいにするのが目的です。

## 花新聞第1号

記念すべき第1号は平成7年8月10日に発行されました。市長のお話あり、いろいろな花事業の紹介ありで、少し堅い新聞？今の花新聞とはイメージが全く違うことに驚きと新鮮さを覚えます。



## 花新聞第2号

第2号は平成8年2月21日発行。北九州市内の花どころを紹介しています。第1号に比べて写真やイラストが多く掲載され、見た目にも楽しい新聞になってきています。



## 花新聞第3号

第3号は平成8年9月2日発行。現在の花新聞の形を見ることが出来ます。同じ年、第1回「北九州市花咲くまちづくりコンクール」が開催され、その結果や受賞者の喜びの声がてんこもりに掲載されています。この号から毎年秋号の花新聞には、花咲くまちづくりコンクールの受賞結果が掲載されるようになりました。また、第1号・2号と

## 花新聞第6号

これまでの花新聞の中に、少し趣の違った号があります。それが第6号です。花新聞の初代レポーターである菅木さんがイギリスを訪れ、本場のイングリッドシユガーデンを紹介してくれました。今読み直しても、さすがに本場！と思えるほどガーデニングが地域に溶け込んでいる様子がよくわかります。



は大きな違いが……。花新聞キャラクター「ピッチャーん」の登場です！





## 花新聞レポーター

現在の花新聞レポーターはクロスFM等で活躍中の園田静佳さんです。花新聞のレポーターとしては2代目。第9号から現在まで丸6年間、花とみどり係の無理な要望も快く引き受けていただき、花づくり活動を行って頂いている多くの方たちの取材をしていただいています。紙面をお借りして一言。園田さん、ありがとうございます！そして今後ともよろしくお祈りいたします！

## 暮らしの花風景

花新聞創刊から現在まで、10年間に渡りお付き合いいただいているのが、「暮らしの花風景」でおなじみの、西日本短期大学講師でグリーンアドバイザーでもある音成陽子先生です。実は今回もちまして、音成先生のコラム掲載が終了します。「愛読されていた皆さんも寂しくなるでしょうが、今後の音成先生の活躍を見守りましょう！先生、長い間本当にありがとうございます。花とみどり係一同、これまでご協力いただいたことに深く感謝するとともに、今後の活躍とご健康を心よりお祈り申し上げます。

### 音成先生より書きたる

花新聞10周年おめでとうございます。今回もちまして「暮らしの花風景」のコラムを続けさせていただくことになりました。北九州市の皆様には10年もの長い間「コラム」を読んでもいただき、ありがとうございます。皆様のガーデニングに少しでもお役に立てたのであれば、私も嬉しい限りです。今後とも北九州市の皆様が今以上にガーデニングに興味を持たれ、より多くの花が市内にあふれることを願っております。

## 花とみどり係のメンバー

現在、花とみどり係には係長1名、係員3名が在籍しています。市内を花と緑でいっぱいにしようと、奔走中です。カメラを片手に花や樹木の写真を撮ることも一つの大事な仕事です。これからもよろしくお祈りします。



## 担当者からの一言

花新聞が皆さんのお手元に届くまでには、多くの時間を費やし、また多くの方のご協力があります。市内で花づくり活動をされている方々はもちろんのこと、取材等でご協力いただいた団体の方、レポーターの園田さん、音成先生、そして多大な労力をつぎ込んで編集作業をしていただいている皆様、本当にありがとうございます。皆様の協力があつて花新聞が成り立っていることを花とみどり係一同、あつくお礼申し上げます。

これからもずっと皆さんに読んでいただけるよう、より親しみのある楽しい花新聞を目指していきたいと考えています。何かご意見・ご要望等ありましたら、花とみどり係までご一報ください。皆さんとともに花新聞を作っていきます！と思つて私達です。



## お知らせ板

● 広げよう、花づくりの輪！

● 第10回北九州市花咲くまちづくりコンクール

花咲く美しいまちづくりへの取り組みを表彰する「花咲くまちづくりコンクール」。

今年で10回目を迎えるにあたり、より多くの皆さんが気軽に参加できるように、新しい部門や賞を設け審査にも新しい取組みを加えました。

「個人部門」「団体部門」「学校部門」「企業部門」「特別部門」があり、自薦・他薦は問いません。

あなたの花へのりを、多くの方に見てもらいませんか？皆さんの応募をお待ちしています。

### 別家

市内で花を育てている個人や団体、学校、企業など、但し北九州市が花を植えた園所及び公園、道路などの公共施設で管理者の承認を受けていない箇所については対象外となります。

### 応募要領

4月1日(金)～5月20日(金)までに所定の応募用紙に花の写真(カラー・B5判程度、全体が分かるもの)を貼って花とみどり係へ送ってください。  
※応募用紙は3月中旬頃から区役所などで配布予定で。

今年には応募期間が短くなりました。早めのご応募をお願いします。

### 表彰

各部門から最優秀賞、優秀賞、優良賞、審査員特別賞、新人賞を授与し、受賞者に賞状・賞金を授与します。また過去の最優秀賞受賞者を対象にした特別功労賞には賞状と楯を授与します。

### お問い合わせ

北九州市建設局緑政課花とみどり係  
TEL 093(655)2466

● 次回第21号の「はなまちニュース」

小倉南区で花づくりをされている「リナリア会」の皆さんが、作業風景の写真をまとめたものを持ってきてくださいました。花へのりに対して色々な思いが込められているようです。次回秋号でご紹介します。

## 花新聞キャラクタ―「ピッピちゃん」



実はピッピちゃん第3号から登場しました。当時の製作者によると、花新聞のタイトルにあわせてキャラクタ―を作ろうと話が持ち上がったそうです。「花の妖精や天使をイメージしたら、すんなりと現在のピッピちゃんが登場できました。ピッピちゃんにも影響されています。花の妖精なので頭はチューリップをイメージしています。ピッピちゃんが持っている杖は、これを振りかざすことでお花が咲き広がる、という魔法の杖です。今もすつとピッピちゃんが花新聞のキャラクタ―として登場していることについて、「その音限りかと思っていました。イメージキャラクタ―としてすつと親しまれていることは、とても嬉しいですね。これから花新聞を皆さんに送り届ける、という大きな任務を背負ったピッピちゃんの活躍に、皆さん、期待していただきたいと思います。





FLOWER  
KITAKYUSHU

# ばなまちニュース



2年後、昨年11月のことでした。花の植え込みが実現したのは錦まちづくり工房が活動をスタートしてから約



そして、花の植え込みが実現したのは錦まちづくり工房が活動をスタートしてから約2年後、昨年11月のことでした。

町に溶け込んだ花のある景色の誕生に、さまざまな努力がありました。そして、その経緯が良い町の土台となっていくのでしょう。活動は今も少しずつ進行して、かたちになろうとしています。北九州の町を自慢したくなる取材でした。



メンバーの中で最高齢、73歳の小松健二さんと67歳の福井奈美江さんのお二人は、記念館の花の水やりを6月の最初の植え付けから毎日行っています。朝、6時半から夕方4時半からの1日2回。1回に1時間半といいますが大変な作業です。「その姿にじっとしていられなかつた。」と若い世代の皆さん。「水やりの道具がもつと花壇に近いところであれば、楽になる」と、場所を交渉してかえてあげたり、ローテションを組んで水やりをサポートするようになりました。それぞれの行動が思いやりや感謝の気持ちを生み、生きる楽しみにもつながっていったようです。心温まるエピソードとともに花も美しく成長し、記念館では花の前で写真を撮る人が増えたそうです。

育てた花をほめられて、みなさんはますます花への愛情が深くなったそうです。また、それだけではなく、自宅の庭にも水やりを始めたたり、外出をして外の景色を楽しむようになったりと、メンバーのライフスタイルも変化しました。もちろん、それらはこれからの花づくりにもフィードバックされるはずですが、今後の活動も目が離せません。  
(文・園田 静佳)



講師のお二人オーブンガーデン北九州の代表、中原一穂氏は「花を育てる難しさは、維持管理」といいます。「どんなふうにも美しさをキープするか。成長につれて変わる美しさをどうみせるか…。そこが難しい。しかし今回、驚いたのは記念館の花壇と39のハンギングバスケットがひとつも枯れなかったことです。土地柄、潮風を受けるし、昨年の夏は台風もたくさん上陸したのに、すごいことです」と話してくれました。



花新聞リポーター  
園田静佳  
クロスFM/  
ニュース・アナウンサー  
RKBラジオ/  
リポーター

今回の取材場所となった門司港レトロ地区では、開業10周年を迎えるこの春に開花するようにと真冬の門司港西海岸に葉の花を植えたという話題が飛び込んできました。これからもそういうところにスポットをあてていきたいです。

市民花壇の誕生  
魅力は各世代のコンベンション

先生の驚き  
講師のお二人オーブンガーデン北九州の代表、中原一穂氏は「花を育てる難しさは、維持管理」といいます。「どんなふうにも美しさをキープするか。成長につれて変わる美しさをどうみせるか…。そこが難しい。しかし今回、驚いたのは記念館の花壇と39のハンギングバスケットがひとつも枯れなかったことです。土地柄、潮風を受けるし、昨年の夏は台風もたくさん上陸したのに、すごいことです」と話してくれました。

花通信  
花新聞10周年おめでどうございます。取材は楽しく、リポーターになって、もう6年になるとは信じられない程あつという間でした。



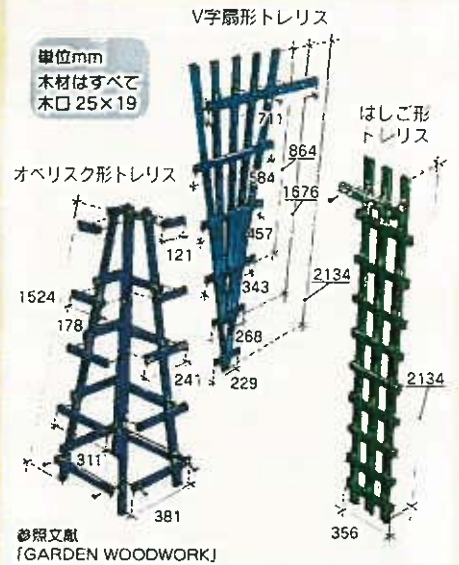
# 暮らしの花風景

## ツル植物を楽しもう・2

前号で紹介しましたツル植物を美しく咲かせるには、おしゃれなトレリスは必需品です。日曜大工で造ってみましょう。電動ドライバー、ねじ、ものさし、鉛筆、紙やすり、接着剤などを用意し、木材はホームセンターなどでサイズ通りにカットしてもらえば、とても簡単です。サイズは必要な大きさに変更しましょう。

出来上がり寸法通りに縦の軸木を床に並べてから、横の横木の位置に鉛筆で正確に印を付けます。横木のネジ穴にも同様に印を付けます。縦の軸木と横の横木を重ねます。この時、木工用の接着剤を使えば作業が上手にできます。木材の割れを防ぐため、事前にネジ穴をドリルで細めにあけてから上端と下端を先にネジでしっかり固定します。木材の端々を紙やすりで丸みをつけておけば、さらに仕上がりが美しいでしょう。防腐効果もかねてお気に入りの色を塗れば、庭に個性的で印象的な効果が演出できます。

西日本短期大学造園科講師 グリーンアドバイザー 音成 陽子



# イベント情報

### 到津の森公園

#### ミミザの春

ミミザの密生する当園では、2月3月、草原エリア一帯が黄色に染まります。恋を連想させる花言葉を持つミミザと共に、動物イベントも春のペヒラツシユを前に恋ハーションでお送りします。

**2月11日(祝)金** ～ **3月14日(月)**

#### 3周年フェア

**3月19日(土)～5月8日(日)**  
開園3周年を記念して、様々なイベントを実施します。

### 平尾台自然の郷

#### 平尾台グリーン大作戦

**3月13日(日)**  
平尾台のゴミ拾い。ボランティアと一般来訪者参加イベント。

#### 平尾台クロスカントリー

**3月20日(日)**  
スタート・ゴールは平尾台自然の郷ウイレッジゾーンです。平尾台の草原を駆け抜けるクロスカントリー競技会。要事前申込。

お問い合わせ  
小倉南区役所 ☎(951)4111

### 山田緑地

#### ハードウォッチング

**3月13日(日)** 9:30～12:00  
野鳥の会の協力により、園内を散策しながら野鳥の声や姿を観察します。当日9:00から受付。☎(582)4870

### グリーンパーク

#### '05春のフラワーフェスタ

**3月25日(金)～5月5日(祝・木)**  
グリーンパーク園内に10万本のチューリップをはじめ計60万本の花々が咲き、キャラクターショーやフリーマーケットなど各種イベントも予定しています。

### 白野江植物公園

#### 写真コンテスト入賞作品展

**3月19日(土)～27日(日)**  
今年度の写真コンテストの入賞者の作品を展示します。



## 2005年 お花見情報

北九州市内の主な桜の名所と開花予想時期をご案内します。



### 花新聞 だより

八幡西区楠橋小学校から素敵な写真が届きました。先生や子供達だけでなく、保護者の方も花を楽しんでほしいです。

このからも心細い花いっぱい学校を目指して花づくりを続けてほしいです。

花の写真を送ってほしいです

北九州市内の花の写真を集めます。ご自宅で咲かせた花や野山の花風景など、お気に入りの写真を送ってください。写真の部は花新聞紙上で紹介させていただきます。併せて、花に関するお便りや花新聞の感想もお待ちしております。

あて先  
FLOOWER  
小倉北区内  
北九州市建設局  
公園緑地部緑政課花とみどり係

TEL 093-588-2888  
FAX 093-588-1141